

<報道提供>

令和3年7月22日
危機報道官
電話 054-221-2316

(件名) 熱海伊豆山地区の土石流の発生について (第29報)

(7月22日 16時00分現在)

(静岡県災害対策本部)

1 概況

7月3日、熱海市伊豆山地区において発生した土石流は、逢初川の源頭部の標高約390m地点（海岸から約2km上流）から、逢初川を流下した。土石流により被災した範囲は、延長約1km、最大幅約120mにわたる。

2 県災害対策本部の活動状況

- 3日12:00 県災害対策本部を設置
自衛隊に派遣要請
13:30 消防庁に緊急消防援助隊の出動要請
15:30 災害救助法の適用を公示
9日 被災者生活再建支援法の適用を公示

3 人的・物的被害の状況

(1) 人的被害

(※)「行方不明者」「死者」の区分名は、「消防庁災害報告取扱要領」による区分)

行方不明者：8名

死者：19名

中等症：3名

その他：25名

避難者：333名

・金城館186名

・ウオミサキホテル147名

(2) 物的被害

被害棟数：131棟（128世帯、216名）

4 ライフライン等の状況

(1) 水道

区 分	件 数
発災時に断水した合計件数	1,074件
令和3年7月16日までに通水した件数	804件
今後復旧が見込まれる件数	2件
今後の復旧について所有者と協議が必要な件数	70件
復旧不能件数	198件

(2) 電気、通信、ガス
被災家屋以外は復旧済

○道路

路 線	区 間	規 制 状 況
国道135号	熱海市東海岸町（ビーチライン入口）～ 神奈川県境(門川交差点)	全面通行止
熱海ビーチライン	全線	7/14 12:00からは、国道135号の通行規制が解除されるまでの間、一般車両も対象に無料開放
伊豆スカイライン	全線	7/14 6:00から、国道135号の通行規制が解除されるまでの間、一般車両も対象に無料開放。但し、125cc以下の自動二輪及び原動機付き自転車は通行できません。

○路線バス

路 線	区 間	規 制 状 況
東海バス 熱海駅～伊豆山・ 湯河原駅線	伊豆山～湯河原駅 熱海駅～伊豆山	・伊豆山～湯河原駅は運行再開(7/15から) ・熱海駅～伊豆山は当面の間運休
東海バス 七尾原循環	熱海ビーチライン経由（臨時運行）	・運行再開(7/14午後から当面の間、熱海ビーチライン経由で運行) ・本来の「伊豆山小学

路線	区間	規制状況
		校」バス停を經由せず、「折越」バス停を「臨時伊豆山小学校（折越）」バス停として運行（7/20から） ・臨時伊豆山小学校から春日町の間は両バス停を除き乗車・降車不可 ・桃山～伊豆山小学校間は当面の間運休
東海バス 紅葉ヶ丘～郵便局・熱海駅～伊豆山循環	熱海駅～逢初橋・小学校入口・伊豆山神社前～熱海駅	熱海駅～逢初橋・小学校入口・伊豆山神社前～熱海駅は当面の間運休
東海バス 熱海駅～伊豆山循環～紅葉ヶ丘・ひばりヶ丘線	熱海駅～伊豆山神社前・小学校入口・逢初橋～熱海駅	熱海駅～伊豆山神社前・小学校入口・逢初橋～熱海駅は当面の間運休

5 主な生活再建支援

(1) 被災者の住宅確保

公営住宅等 77戸
民間住宅 63戸 計140戸

7月15日に住宅相談窓口を熱海市役所に開設

(2) り災証明書等の申請受付・発行

○被災者相談窓口の開設

時間 令和3年7月26日(月)～8月10日(火)

午前9時～午後4時（土日祝は午前9時～正午）

場所 熱海市総合福祉センター3階

○立入禁止区域内で被害が明らかな家屋のうち事前調査が判定できたものについては、順次、り災証明書等の申請受付・発行

(3) 災害ボランティア 7月22日14時現在9名（7月21日からの累計23名）

6 県及び市町の職員派遣状況

住家被害認定調査、罹災証明交付、避難者の健康管理の支援等のため、熱海市に対して県職員及び県内市町職員を以下のとおり派遣。

県 14名、市町 16名 (9市町) 計30名

7 関係機関の派遣状況

○自衛隊

活動隊	活動人数	備考
陸上自衛隊	油圧グラッ プル1台 油圧ショベ ル1台 バケツトロ ーダ1台 資材運搬車 2台 小型ショベ ルドーザー <u>5</u> 台 小型グラッ プル <u>3</u> 台	新幹線北側上流部にて活 動
	2隊96名	新幹線北側上流部の住居 位置にて集中的に活動
	1隊102名	新幹線北側下流部の住居 位置にて集中的に活動
	1隊 <u>30</u> 名 グラップル 1台	逢初橋一帯で重機を活用 しつつ活動中（警察共 同）
	その他 <u>94</u> 名	浄水管理センターにて部 隊の活動を統制及び支援
小計	<u>322</u> 名	
航空自衛隊	0名	入間・浜松基地等で待機
合計	<u>322</u> 名	

○消防

消防機関の活動概況

区分	活動隊	活動人数	備考
県内	熱海市消防本部	85名	被災現場等で活動中
	熱海市消防団	180名	
	静岡県消防局 指揮支援隊	1 隊 6 名	熱海市消防本部で活動中
	静岡県大隊	約 <u>40</u> 隊 (約 <u>150</u> 名)	新幹線法面上流で活動
	小計	約 <u>421</u> 名	
県外	横浜市消防局 統括指揮支援隊	1 隊 4 名	静岡県庁で活動中
	群馬県大隊 栃木県大隊 茨城県大隊 岐阜県大隊	約 80 隊 (約 280 名)	新幹線法面上流で活動
	小計	約 284 名	
	合計	約 <u>705</u> 名	

・活動予定

搜索活動 6:00～18:00 各隊活動状況報告 17:30
 関係機関調整会議 18:00 作戦会議 19:00

○海上保安庁

22日 伊東事務室のゴムボートによる搜索

○警察

区分	人数	備考
県警	約90名	県機動隊、管区機動隊、交通部隊等
警察災害派遣隊	約 <u>110</u> 名	千葉県、大阪府 情報通信部（長野県）
	約 <u>200</u> 名	

○その他の関係機関の活動状況

機関名	活動状況
内閣府調査チーム	<ul style="list-style-type: none"> ・ ISUTによる災害対応機関の情報集約支援活動（遠隔対応に移行） ・ 被災者支援等に関する各種調整
法務省矯正局特別機動警備隊	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7/18～矯正局特別機動警備隊長以下19名及び車両2台派遣 ・ 7/18～伊豆山地区の搜索活動エリア近辺の交通規制及び立入制限区域の規制などの支援活動
国土交通省中部地方整備局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 照明車2台 源頭部にて夜間稼働、日中待機 ・ 7/3～静岡県庁へリエゾン派遣（7/22：2名対応中） ・ 7/3～静岡県熱海土木事務所へリエゾン派遣（7/22：2名対応中） ・ 7/3～熱海市へリエゾン派遣（7/22：2名対応中）
静岡地方气象台	<ul style="list-style-type: none"> ・ 熱海市災対本部会議等において気象解説を実施 ・ アメダス臨時観測点「熱海伊豆山」運用
日本赤十字社	7/7～31 ころのケア班3名をホテルに派遣、関係機関と連携し避難者からの相談に対応、避難者のストレス軽減を図る。
静岡県医師会	高齢避難者の体力低下、ADL低下に対応するため、7月21日より、医師並びにリハビリテーション専門職を構成員とするJMAT（日本医師会災害医療チーム）1チームを派遣
DPAT	7/4～20 避難者の精神面での健康管理のため、DPAT（災害派遣精神医療チーム）1隊を派遣
静岡県看護協会 災害支援ナース	県との協定（災害時の医療救護活動に関する協定書）に基づき、7月6日から避難所の健康相談対応等を実施
静岡県公認心理師協会	7/20～ 避難者の精神面での健康管理のため、公認心理師を派遣
静岡県建設業協会	<p><災害応急対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重機による土砂、瓦礫の撤去・運搬（熱海港埋立地へ）

機関名	活動状況
	<ul style="list-style-type: none"> ・泥状土砂の固化処理 ・伊豆山港における堆積土の状況調査
環境省	関東地方環境事務所から1名（7/6～7/19常駐、7/20～隔日）、近畿地方環境事務所から2名（7/11～7/17常駐）、熱海市へ派遣対応中（災害廃棄物処理に関する助言）
静岡県 産業廃棄物協会	県との協定（地震等大規模災害時における災害廃棄物の処理等に関する協定）に基づき、災害廃棄物の仮置場の運営、運搬・処分等の業務を実施

8 参考（義援金）

機関名	概要
日本赤十字社静岡 県支部及び静岡県	(期間) 7月9日～10月31日 (方法) 静岡銀行への振込
社会福祉法人静岡 県共同募金会	(期間) 7月8日～10月29日 (方法) ゆうちょ銀行への振込
熱海市	(期間) 7月5日～ (方法) 三島信用金庫への振込、災害支援ふるさと納税、熱海市役所義援金箱